

MS型側圧式液面計 取付・取扱説明書

該 当 型 式

MS-90

MS-90S

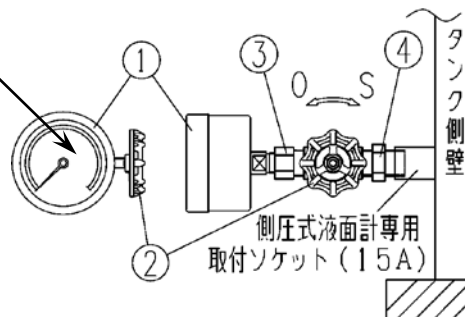
MS-L600

このたびは、弊社製「MS型側圧式液面計」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取付・取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

【外観図】

△
注
意

タンクへ設置完了後に、前面カバーを開けて指針と目盛板との間に挟んでいるカット綿(脱脂綿)を取り外してください。



④	六角ニップル	15A
③	ブッシング	15A × 10A
②	バルブ	15A
①	メーター	
番号	部 品 名	備 考

I. 取付方法

1. 本製品は、上図の①～④までが組み込まれた状態で納入されています。
2. バルブ②は閉じた状態(ハンドルが矢印“S”の方向に閉まっている状態)でタンクへ取付けを行ってください。
3. 六角ニップル④のねじ部に、シールテープなどの配管用シール剤を十分に施し、タンク側壁の側圧式液面計専用取付ソケット(15A)へ、しっかりとねじ込んでください。
ねじ込む際は、必ず六角ニップル④またはバルブ②のタンク側スパナ掛け部分をスパナ等の適切な工具を使用し、ねじ込んでください。

△ 禁止

メーター①やバルブ②のハンドル部を利用してねじ込まないでください。
漏油や故障などの原因となります。

4. タンク側壁のソケットが 15A 以外の場合は、異径ブッシングなどを用いて、15A に変換してください。
5. メーター①の傾き調整やバルブ②の向きを変更する場合は、②③④のスパナ掛け部分を締め込み方向に回転させて、向きの調整を行ってください。ただし、バルブ②を閉めた状態でブッシング③を過度にねじ込むと、メーターに圧力がかかり破損させるおそれがあります。

II. 取扱方法

1. 本製品の取付け完了後、タンク内へ給油してください。
2. 給油終了後にバルブ②を開く(ハンドルを矢印“O”の方向へ回す)と、現在の在庫量が指示されます。
指示量の目盛は“リットル”で表示されており、1目盛の表示量は目盛板に明記されています。
3. 各部より油漏れなどが無いことを確認してください。
4. バルブ②は、常時“開”の状態で使用してください。

△ 注意

- 本製品に衝撃や振動などを与えないでください。本製品の内部には僅かな圧力を検知するダイヤフラムなどの精密機器が組み込まれており、衝撃や振動などを与えると、故障や破損などにより引火・爆発や漏油・誤作動などの原因となります。特に搬送時などにおいて、衝撃や振動などが加わらないよう適切な方法で搬送してください(タンク本体に取り付けた状態での搬送は行わないでください)。
- 本機器は微圧計ですので、給油時にタンク内へ油を圧送する時やタンクの圧力検査をする時などは、必ずバルブ②を閉じてメーター本体へ圧力が加わらない状態にして作業を行ってください。
万一、メーター本体へ異常な圧力が加わると、漏油や故障などの原因となりますので十分ご注意ください。
- メーター本体のみ取替えの際は、必ずタンク内の油を抜き取って空の状態とし、バルブ②を開いてから作業を行ってください。油が残った状態やバルブ②を閉じた状態で取替作業を行うと、油が漏れ出す危険性やメーター本体を損傷する場合がありますのでご注意ください。

SKK 昭和機器工業株式会社

2020.09.25 改訂